

科目名	経済学Ⅱ	担当者	生垣 琴絵	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
				授業時間数	90分×15回		必修選択	政経新聞 公共政策	

【関連するDP・CP】 (DP＝ディプロマ・ポリシー：学位授与に関する方針) (CP＝カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成・実施に関する方針)	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
	○	○	○	○				

【授業の概要】
この講座では、経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生起する様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を学習する。この講座では主にマクロ経済学に分類される国民所得決定に関する基礎理論を学習し、さらに経済学の応用分野である財政学、公共経済学、国際経済学といった科目の基礎理論を学習する。

【授業の目的】(General Instructional Objective:GIO 一般目標)
中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎理論の修得を目的とする。

【履修条件】
経済学Iを履修していることが望ましい。

【授業方法】
テキストに沿って授業を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配布する場合がある。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無	無	
アクティブ・ラーニングの形態		

【到達目標】(Specific Behavioral Objectives:SBOs 個別行動目標)												
ルーブリック評価項目の内容		A-1	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観			A-5	挑戦力					
		A-2	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力			A-6	コミュニケーション力					
		A-3	論理的・批判的思考力			A-7	リーダーシップ・協働力					
		A-4	問題発見・解決力			A-8	省察力					
達成されるべき具体的行動					関連するルーブリック評価項目の達成レベル							
					A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
①	日本が直面する経済的問題を把握し、理解することができる。				1	1	1	1				
②	経済に関する学問的知識を基に、社会現象を科学的・論理的に分析できる。				1	1	1	1				
③	経済問題に対する解決策を提案することができる。				1	1	1	1				
④	よりよい社会の創造に向けて、経済的問題の解決に果敢に挑戦することができる。				1	1	1	1				
⑤												
⑥												
⑦												
⑧												
⑨												
⑩												

【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の 比率(%)
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
試験(定期試験／ 授業内試験)	到達目標①②③④について、経済学の基礎理論が修得できているかを、筆記試験により評価する。	20	25	25	20							90
小テスト等	到達目標②③について、経済学の基礎理論が修得できているかを評価する。		5	5								10
レポート等												
討論・発表等												
授業への参画度												
その他()												
その他()												
その他()												
到達目標別の比率(%)		20	30	30	20							100

【課題に対するフィードバックの方法】
授業時間中、あるいはGoogle Classroomを通じておこなう。

【教科書・参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
Next 教科書シリーズ 経済学入門 第3版	横溝えりか・竹本亨 編著	弘文堂	2025	教科書	必携
備考					

【オフィスアワー】
月曜日の昼休み（事前にアポイントメントを取ること） ikegaki.kotoe@nihon-u.ac.jp

【実務経験を活かした実践的教育について】			
担当教員の実務経験の有無	無	実務経験の内容	
実務経験に基づく実践的教育の内容			

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	経済学Ⅱを受講するにあたって	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて、経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて、経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。	
	事前学修	シラバスをよく読む。教科書を入手して、各章の冒頭にある導入説明を読む。	120分
	事後学修	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。	120分
2	国内総生産（GDP）	マクロ経済学の特徴とその基礎的概念である国内総生産について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、マクロ経済学の特徴を説明できる。また、国内総生産の概念を説明できる。	
	事前学修	教科書第6章「国内総生産」をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、マクロ経済学の特徴と国内総生産の概念を整理する。	120分
3	物価	物価変動や、物価に関する指数について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、物価に関わるインフレーションやデフレーションなどの概念を説明できる。また、さまざまな物価指数について説明できる。	
	事前学修	教科書第7章「物価」をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、物価指数についてまとめる。	120分
4	失業（1）労働市場	マクロ経済学における失業の定義および労働市場における均衡と失業との関係について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、失業の定義および労働市場における均衡と失業との関係について説明できる。	
	事前学修	教科書第8章「失業」の1および2をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、労働市場における均衡と失業の関係についてまとめる。	120分
5	失業（2）失業の原因	失業の原因について、マクロ経済学的な説明を学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、失業の原因について、マクロ経済学的に説明できる。	
	事前学修	教科書第8章「失業」の3をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、失業の原因について整理する。	120分
6	均衡所得の決定（1）有効需要の原理・乗数効果	有効需要の原理および乗数効果について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、有効需要の原理および乗数効果について説明できる。	
	事前学修	教科書第9章「均衡所得の決定」の1および2をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、有効需要の原理および乗数効果についてまとめる。	120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。			
回数	テーマ	内 容	
7	均衡所得の決定（２）政府支出拡大の効果と減税の効果	政府支出拡大の効果と減税の効果について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、政府支出拡大の効果と減税の効果について説明できる。	
	事前学修	教科書第9章「均衡所得の決定」の3をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、政府支出拡大の効果と減税の効果について整理する。	120分
8	6章から9章までの総括	教科書第6章から9章までの内容について理解を深める。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、国民所得、失業、物価、そして、それらを踏まえた有効需要の原理に基づくマクロ経済学の基礎理論について説明できる。	
	事前学修	教科書第6章から第9章をよく読む。これまでの授業内容を振り返る。	120分
	事後学修	教科書とノートを利用して、国民所得、失業、物価、そして、それらを踏まえた有効需要の原理に基づくマクロ経済学の基礎理論について整理する。	120分
9	金融システム	金融とは何を意味するのかを学習し、また金融機関の分類と金融市場の分類、貨幣、金利について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、金融とは何を意味するのか、また金融機関の分類と金融市場の分類、貨幣、金利について説明できる。	
	事前学修	教科書第10章「金融システム」をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、貨幣の機能について整理する。	120分
10	財政学の基礎	財政の役割、財政学の研究対象および日本の財政の問題について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、財政の基礎知識及び日本の財政問題を説明できる。	
	事前学修	教科書第12章「財政学の基礎」をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、財政の役割、財政学の研究対象および日本の財政の問題についてまとめる。	120分
11	公共経済学の基礎（１）厚生経済学の基本定理と公共経済学	厚生経済学の基本定理および公共経済学の特徴を学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、厚生経済学の基本定理および公共経済学の特徴を説明できる。	
	事前学修	教科書第13章「公共経済学の基礎」の1をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、厚生経済学の基本定理および公共経済学の特徴を整理する。	120分
12	公共経済学の基礎（２）市場の失敗と外部性	市場の失敗と外部性について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連して、市場の失敗と外部性について説明できる。	
	事前学修	教科書第13章「公共経済学の基礎」の2および3をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、市場の失敗と外部性について整理する。	120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。			
回数	テーマ	内 容	
13	国際経済学の基礎	国際貿易の基礎理論および外国為替相場と国際収支について学習する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、国際貿易の基礎理論および外国為替相場と国際収支について説明できる。	
	事前学修	教科書第14章「国際経済学の基礎」をよく読む。	120分
	事後学修	教科書と講義ノートを利用して、国際貿易の基礎理論について整理する。	120分
14	授業と振り返り	初回から前回までの範囲について試験を実施する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、初回からの講義内容を説明できる。	
	事前学修	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、マクロ経済学の体系を考察する。	120分
	事後学修	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直す。	120分
15	試験の解説と全体の総括	講義のまとめ。試験の解説。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、初回からの講義内容を説明できる。	
	事前学修	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、マクロ経済学の体系を考察する。	120分
	事後学修	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、より上級のマクロ経済学の教科書を読んでみる。	120分